SONY

4-165-051-**04** (1)

FM/AM
PLLシンセサイザーラジオ

取扱説明書・保証書

ICF-A101

お買い上げいただきありがとうございます。

⚠警告 電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書と別冊の「安全のために」をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

* 4 1 6 5 0 5 1 0 4 * (1)

品　名	ラジオ
型　名	ICF-A101
保証書	T02-1

ここに保証書が入ります

Complete the film by inserting the warranty at this position.

在此處插入保證書完成菲林。

在此位置插入保证书以完成胶片。

よくあるお問い合わせ、窓口受付時間などはホームページをご活用ください。 http://www.sony.co.jp/support

使い方相談窓口
フリーダイヤル‥‥‥‥‥‥‥‥0120-333-020
携帯電話・PHS・一部のIP電話‥ 0466-31-2511

修理相談窓口
フリーダイヤル‥‥‥‥‥‥‥‥0120-222-330
携帯電話・PHS・一部のIP電話‥ 0466-31-2531
※取扱説明書・リモコン等の購入相談はこちらへお問い合わせください。

左記番号へ接続後、最初のガイダンスが流れている間に「304」+「#」を押してください。直接、担当窓口へおつなぎします。

FAX（共通）0120-333-389

ソニー株式会社 〒108-0075 東京都港区港南1-7-1

主な特長

- 付属の地域別局名表示カードを差し込むだけで、放送局のプリセットが簡単に行えます。
- 放送局名を見ながら、簡単に選局ができます。
- 3つのモードからご自分にあった聴きやすさを選べる聴きやすさ選択スイッチ搭載。
- 60分後に電源が切れる「おやすみタイマー」搭載。就寝時に便利です。

使用上のご注意

取り扱いについて

- 落としたり、強いショックを与えたりしないでください。故障の原因になります。
- 次のような場所には置かないでください。
  ー温度が非常に高いところ（40℃以上）や低いところ（0℃以下）。
  ー直射日光のあたる場所や暖房器具の近く。
  ー風呂場など湿気の多いところ。
  ー窓を閉めきった自動車内（特に夏季）。
  ーほこりの多いところ。
- ラジオの内部に液体や異物を入れないでください。
- 汚れたときは、柔らかい布でからぶきしてください。シンナーやベンジンは表面をいためますので使わないでください。
- キャッシュカード、定期券など、磁気を利用したカード類をスピーカーに近づけないでください。スピーカーの磁石の影響でカードの磁気が変化して使えなくなることがあります。
- 耳をあまり刺激しないように、適度な音量でお楽しみください。
- イヤホンで聞く場合、常によい音でお聞きいただくために、イヤホンのプラグをときどき柔らかい布でからぶきし、清潔に保ってください。
- イヤホンをご使用中、肌に合わないと感じたときは早めに使用を中止して医師またはソニーの相談窓口、ソニーサービス窓口に相談してください。

故障とお考えになる前に

修理にお出しになる前に、次のことをお調べください。

表示窓の文字や記号が薄くて見にくい

→ 乾電池が消耗している
→ 極端に暑い場所や寒い所で使っている

雑音が多く、音が悪い

→ 乾電池が消耗している
→ 電波が弱い
　建物や乗り物の中では電波が弱いので、なるべく窓際でお聞きください。

メモリー選局しても、聞きたい放送局が受信できない

→ 間違った番号のメモリーを選んでいる
→ メモリーした放送局が消えている
　もう1度、メモリー登録ボタンに放送局を記憶させてください。

電源ボタンを押しても電源が入らない、または、電源が突然切れた

→ 乾電池がカラになり、表示窓に「」が点灯している
　乾電池を4本とも新しいものと交換してください。

地域別局名表示カードを入れても自動設定が始まらない

→ 前回と同じ地域別局名表示カードを入れている
　再設定したい場合は、中継局選択ボタンを4秒以上押してください。
→ カード交換ぶたが完全に閉まっていない
→ 地域別局名表示カードを入れる向きが間違っている
　正しい向きに入れ直してください。

万一故障した場合は、内部を開けずに、ソニーの相談窓口またはお買い上げ店、ソニーサービス窓口にご相談ください。
修理内容により、メモリー登録ボタンで記憶させた放送局が消えてしまう場合があります。重要なデータは控えをとっておくことをおすすめします。

主な仕様

周波数範囲

バンド	周波数範囲	周波数間隔
FM	76.0 MHz～90.0 MHz	0.1 MHz
AM	531 kHz～1,710 kHz	9 kHz

スピーカー	直径9.2 cm、丸型8 Ω 1個
出力端子	⑨（イヤホン）端子（ø 3.5 mmミニジャック）1個
実用最大出力	400 mW（JEITA*）
電源	AC 100 V、50/60 Hz DC 6 V、単2形乾電池4本
最大外形寸法	約250 mm×162 mm×86.5 mm（突起部含む）（幅/高さ/奥行）（JEITA*） 約235 mm×162 mm×76 mm（突起部含まず）（幅/高さ/奥行）
質量	約1,370 g（乾電池、イヤホン、地域別局名表示カード含む）

* JEITA（電子情報技術産業協会）規格による測定値です。

付属品

イヤホン（1）、電源コード（1）*1、ソニー単2形乾電池（お試し用*2）（4）、取扱説明書・保証書（1）、ソニーご相談窓口のご案内（1）、地域別局名表示カード（14）

*1 付属の電源コードセットは、本機専用です。他の電気機器では使用できません。また100 V専用のため、海外ではご使用になれません。

*2 付属の乾電池はお試し用です。購入する場合はソニーアルカリ乾電池をおすすめします。

本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

保証書とアフターサービス

保証書

- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。
- 保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

アフターサービスについて

調子が悪いときは

この説明書をもう1度ご覧になってお調べください。

それでも具合の悪いときは

ソニーの相談窓口またはお買い上げ店、お近くのソニーサービス窓口にご相談ください。

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

部品の保有期間について

当社ではラジオの補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を、製造打ち切り後6年間保有しています。この部品保有期間を修理可能の期間とさせていただきます。保有期間が経過した後も、故障箇所によっては修理可能の場合がありますので、ソニーの相談窓口またはお買い上げ店、ソニーサービス窓口にご相談ください。

電源について

乾電池で使う

1 乾電池入れの上部のつまみを押したまま手前に開ける。

2 ソニー単2形乾電池4本を、⊕と⊖の向きを正しく入れる。

3 ふたを閉める。

ご注意

乾電池で使うときは、電源コードを抜いてください。電源コードをAC IN（エーシーイン）端子に差し込んだままにすると、本機を操作することができません。

乾電池持続時間

（JEITA*）

	FM	AM
ソニー単2形（LR14）アルカリ乾電池	約115時間	約143時間
ソニー単2形（R14）マンガン乾電池	約42時間	約53時間

* JEITA（電子情報技術産業協会）規格による測定値です。実際の電池持続時間は、使用する機器の状況により変動する可能性があります。

乾電池の交換時期

乾電池が消耗してくると、音が小さくなったりひずんだりして、表示窓に「」が点滅します。カラになると「」が点灯して、ラジオが止まります。その場合は、乾電池を4本とも新しいものと交換してください。

電池交換時のご注意

電源を切ってから60秒以内に交換してください。電源が入ったまま交換したり、交換に60秒以上かかると、登録したメモリーは消えませんが、交換後に電源を入れた時に、カード式簡単局名選局のAMの一番左の局になります。（地域別局名表示カードが無い場合は、AMの1,710 kHzとなります。）その場合は、もう1度選局してください。

コンセント（家庭用電源100 V）で使う

付属の電源コードをAC IN 端子とコンセントにしっかりと差し込んでください。

ご注意

- 電源コードのプラグを抜き差しすると「」が表示されることがあります。この場合電源を入れると「」は消えます。家庭用電源で使わないときは電源を切り、電源コードをAC IN端子とコンセントの両方から抜いてください。AC IN端子につないだままにすると、乾電池が消耗していなくても「」が表示されます。電源コードをAC IN端子から抜いて、電源ボタンを押すと「」は消えます。
- 旅行などで長い間ご使用にならないときは、電源コードをAC IN 端子とコンセントから抜いてください。
- 乾電池を入れないで電源コードでお使いになる場合、電源コードを抜いた状態で60秒以上経過してからラジオの電源を入れたとき、カード式簡単局名選局のAMの一番左の局になります。（地域別局名表示カードが無い場合は、AMの1,710 kHzとなります。）

各部のなまえ

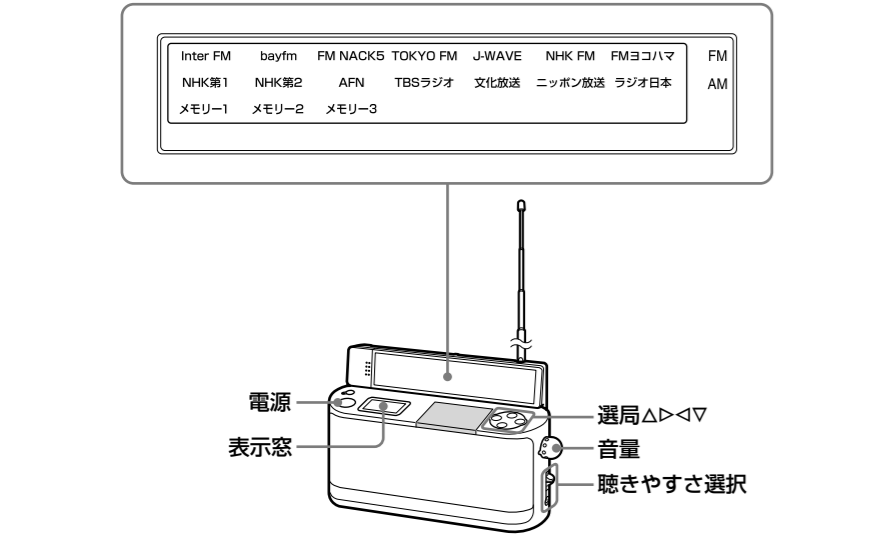
▶ラジオを聞く

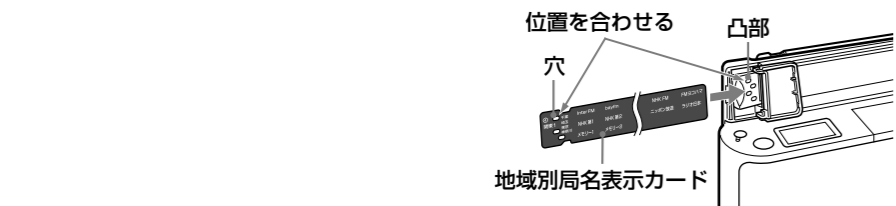
現在いるエリア(地域)を設定して聞く

ーカード式簡単局名選局

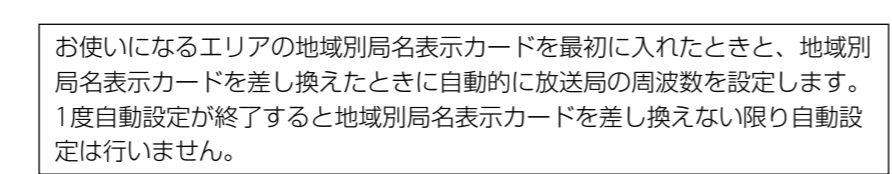
あらかじめ本機に「関東1」の地域別局名表示カードが入っています。
「関東1」以外の地域でお使いになる場合は、付属の地域別局名表示カードに差し換えてお使いください。

放送局の自動設定をする

お買い上げ時は千葉、埼玉、東京、神奈川でお使いいただける「関東1」の地域別局名表示カードが入っています。（このままお使いになる場合は手順3から操作してください。）

1 カード交換ぶたを開ける 。(「ピー」と音が鳴ります。)

2 お使いになるエリアの地域別局名表示カードを差し込んでふたを閉める。(「ピピッ」と音が鳴ります。)

3 ロッドアンテナを垂直に立てていっぱいに伸ばした状態で電源ボタンを押してラジオの電源を入れる。

AMとFMの放送局及び周波数の自動設定が始まります。設定が終了すると、AMの一番左端の放送局を受信します。

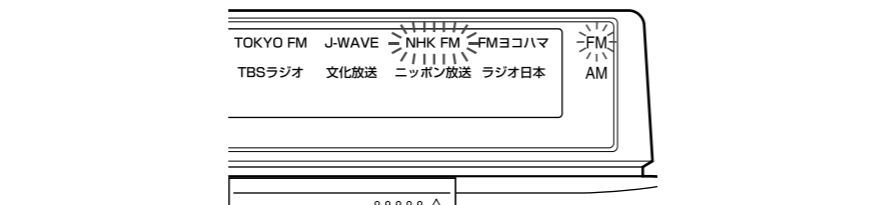
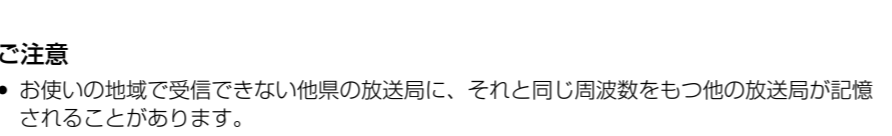
> お使いになるエリアの地域別局名表示カードを最初に入れたときと、地域別局名表示カードを差し換えたときに自動的に放送局の周波数を設定します。1度自動設定が終了すると地域別局名表示カードを差し換えない限り自動設定は行いません。

4 選局△▷◁▽ボタンを押して、放送局を選択する。

前面パネルの選ばれている放送局が点灯します。

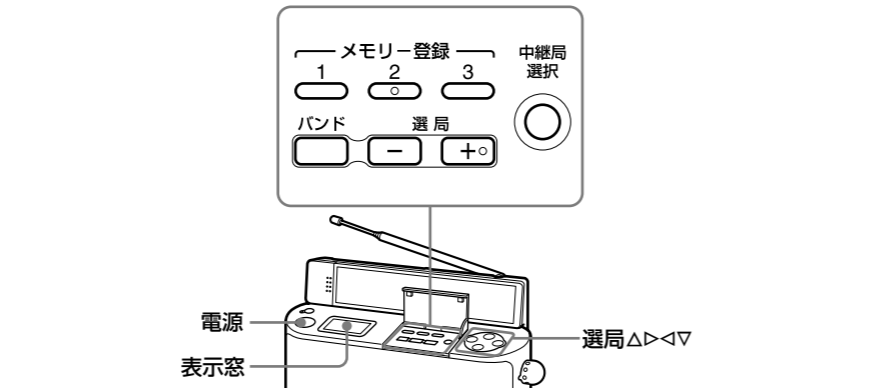
5 音量つまみで音量を調節する。

6 聴きやすさ選択スイッチで音質を調整する。

ご注意

- お使いの地域で受信できない他県の放送局に、それと同じ周波数をもつ他の放送局が記憶されることがあります。

周波数の自動設定を再び行うには

前面のふたを開け、中継局選択ボタンを4秒以上押してください。放送局の周波数の自動設定が始まります。

中継局を手動で設定する

自動設定された周波数を変更する。または中継局*を設定する。

1 電源を入れ選局△▷◁▽ボタンで設定を変更したい放送局を選択する。

2 前面のふたを開けて、中継局選択ボタンを押す。

押す度に今聞いている放送局の周波数が変わります。

記憶されている周波数が最初に戻ると「ピピッ」と音が鳴ります。選んだ周波数は今聞いている放送局の周波数として記憶されます。次にその放送局を選んだ場合、その周波数で受信されます。

* 中継局とは同地域で同じ放送をしている放送局のことです。中継局を受信することで受信状態がよくなる場合があります。(詳しくは付属の「周波数一覧表」をご覧ください。)
中継局を受信時は「中継局」が表示窓に表示されます。

ご注意

- 中継局を持たない放送局があります。その場合は中継局選択ボタンを押しても周波数は変わりません。

イヤホンで聞く

⑨(イヤホン)端子に付属のイヤホンをつなぎます。スピーカーからは音が出なくなります。

バックライト

ボタン操作を行うと、表示窓をバックライトで約8秒間照明し、自動的に消えます。バックライトが点灯しているあいだにラジオを操作すると、さらに約8秒間点灯し続けます。

聴きやすさ選択

聴きやすさ選択スイッチで音質を調整できます。

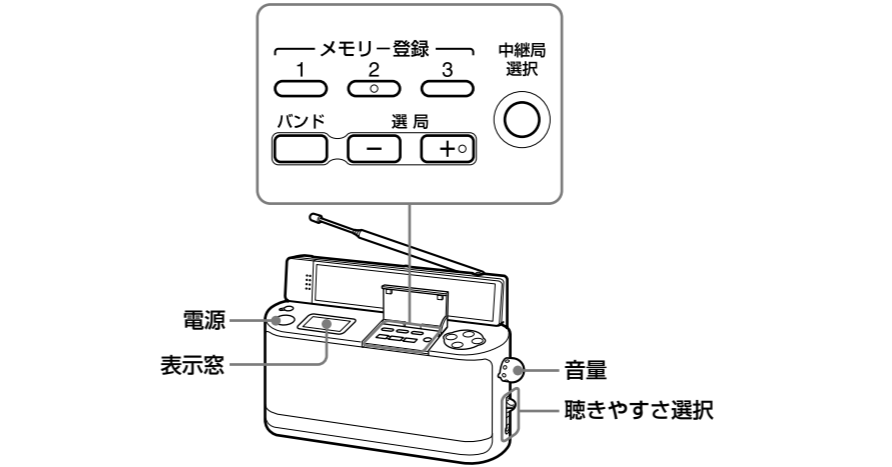
> - 高音強調…高音が強調された音になります。高音が聞き取りにくい場合に有効です。
> - 切…通常の音質になります。
> - ノイズカット…ノイズが少なくなります。電波が弱く、雑音が気になる時に有効です。

電源を切るときは

電源ボタンを押します。

ご注意

- 地域別局名表示カードは、折り曲げたり汚したりしないでください。
- カードを差し込むときは、ゆっくりと奥までしっかり差し込んでください。
- 本機を持ち運ぶときは、本体裏側の把手をお持ちください。

周波数を選んで聞く ーマニュアル選局(手動選局)

1 電源ボタンを押して、ラジオの電源を入れる。

2 前面のふたを開ける。

3 バンドボタンを押して、AMまたはFMを選ぶ。

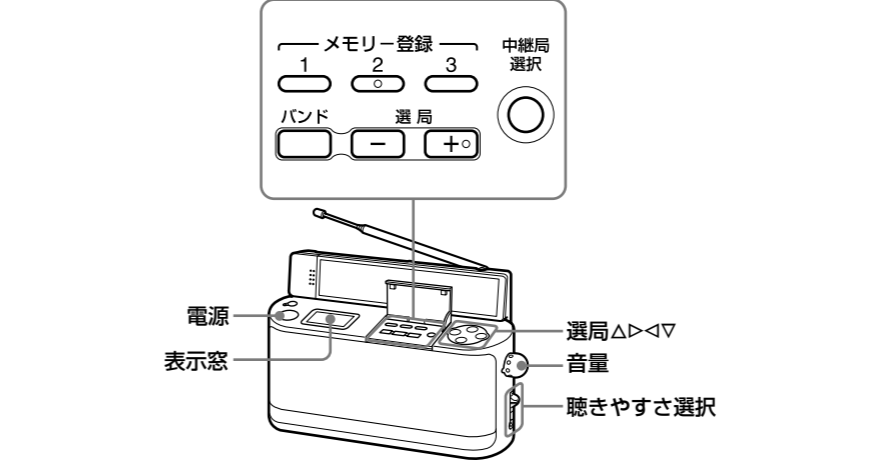
4 選局＋/ーボタンを押して放送局の周波数を選ぶ。

5 音量つまみで音量を調節する。

6 聴きやすさ選択スイッチで音質を調整する。

いつも聞く放送局を記憶させて聞く

ーメモリー選局

いつも聞く放送局を3局記憶させることができます。

放送局を記憶させる

1 電源を入れる。

2 記憶させる放送局を受信する。

「カード式簡単局名選局」または「マニュアル選局」で放送局を選びます。

3 前面のふたを開け、記憶させたいメモリー登録ボタン(1〜3)を選んで押す。

「ピピッ」と音がして受信している放送局が記憶されます。前面パネルの記憶されたメモリーが点灯します。

例　FM77.1 MHzを「マニュアル選局」で選んでメモリー 1に記憶した場合

続けて放送局を記憶させるには、手順2〜3を繰り返します。

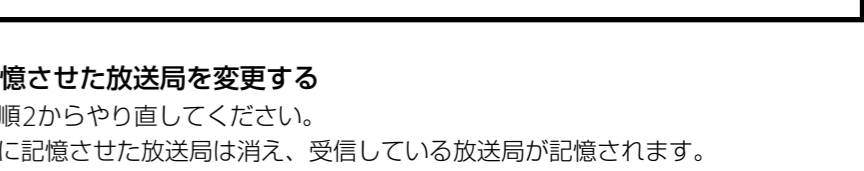
受信状態を良くする

FM放送の場合

ロッドアンテナを伸ばし、受信状態が最も良くなるように長さや角度を調節します。

AM放送の場合

アンテナを内蔵しているので、受信状態が最も良くなるようにラジオの向きを変えてください。

ロッドアンテナの角度を調節するときは、付け根の部分を持ってください。先端部分を持ったり過剰な力を加えると、アンテナを破損することがあります。

記憶させた放送局を変更する

手順2からやり直してください。
前に記憶させた放送局は消え、受信している放送局が記憶されます。

記憶させた放送局を聞く

1 電源を入れる。

2 選局△▷◁▽ボタンを押して、前面パネルの一番下の聞きたいメモリー(1〜3)を選ぶ。

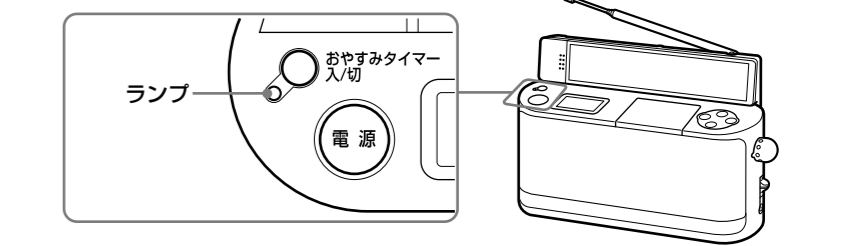
前面パネルの選ばれているメモリーが点灯します。

3 音量つまみで音量を調節する。

4 聴きやすさ選択スイッチで音質を調整する。

▶便利な機能

ラジオを聞きながら眠る ーおやすみタイマー

設定すると、60分後に自動的に電源が切れます。

1 電源を入れ、聞きたい放送局を選ぶ。
(「カード式簡単局名選局」または「マニュアル選局」、「メモリー選局」を参照)

2 おやすみタイマーボタンを押す。

「ピピッ」と音が鳴っておやすみタイマーが設定され、ランプが点灯します。60分後に自動的に電源が切れます。

おやすみタイマーを解除する

もう1度、おやすみタイマーボタンを押します。ランプが消灯します。

ご注意

- おやすみタイマーの動作中にも、ラジオの操作をすることができます。
- ラジオの電源が入っていなくても、おやすみタイマーボタンを押すと、自動的に電源が入ります。